

大学の設置区分別の就職を検討するにあたって企業に望むことについてみると、公立大学では「学士・修士課程修了よりも高い処遇」を望む割合が他の区分に比べて少なく、「特になし」という回答が他の区分よりも多くなっている。また、私立大学では「博士課程の教育研究への積極的な関与」を望む割合が他の区分よりも多い。

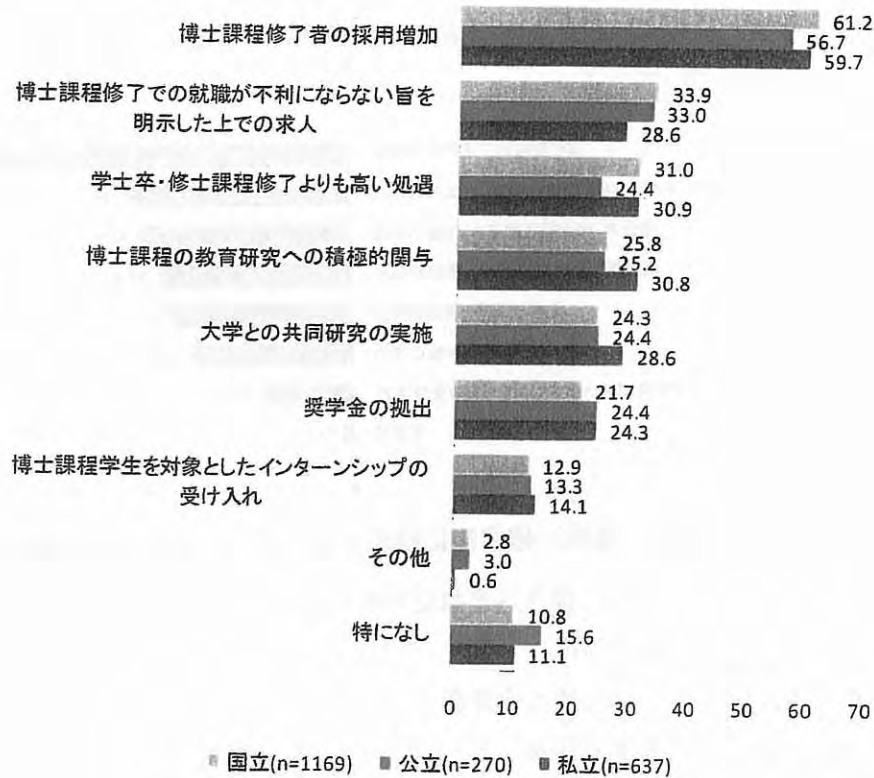


図 I - 44 大学院の設置区分別就職を検討するにあたって企業に望むこと(%)

大学院の所在地別の就職を検討するにあたって企業に望むことについては、東京都以外の関東地方で「博士課程修了者の採用増加」を望む割合が他の地域よりも高く、また、他異動では「博士課程修了での就職が不利にならない旨を明示した上での求人」を除く割合が他の地域よりも高い。東京都では、「奨学金の拠出」を望む割合が他の地域よりも高く、

東北地方では前述の6. 1項（修了後の進路を検討するにあたって大学に望むこと）の垂場合と同様に、「特になし」と回答する割合が他の地域に比べて高かった。

大学院の専攻分野別にみると、社会科学系で「大学との共同研究の実施」を、また、保健系で「学士卒・修士課程修了よりも高い処遇」を望む割合が他の専攻分野よりも多くなっている。

表 I - 17 大学の所在地別就職を検討するにあたって企業に望むこと(%)

	博士課程修了者の採用増加	博士課程修了での就職が不利にならない旨を明示した上での求人	学士卒・修士課程修了よりも高い処遇	博士課程の教育研究への積極的関与	大学との共同研究の実施	奨学金の拠出	博士課程学生を対象としたインターシップの受け入れ	その他	特になし
合計(n=2076)	60.1	32.1	30.1	27.3	25.6	22.9	13.3	2.2	11.5
北海道(n=98)	69.4	41.8	21.4	26.5	21.4	17.3	14.3	4.1	5.1
東北地方(n=155)	55.5	32.3	28.4	25.8	24.5	19.4	14.8	1.9	18.1
東京都(n=310)	61.3	28.4	32.3	29.0	29.0	28.4	12.3	2.3	9.4
東京都以外の関東地方(n=270)	66.7	30.7	29.6	28.9	28.9	23.0	16.7	2.2	8.1
中部地方(n=308)	57.8	33.1	34.1	24.7	28.2	20.8	13.6	2.3	12.3
近畿地方(n=509)	58.9	33.6	27.3	27.1	23.6	24.6	11.4	2.4	12.8
中国地方(n=141)	58.9	34.8	27.7	27.0	24.8	14.9	17.0	-	11.3
四国地方(n=43)	62.8	30.2	32.6	23.3	27.9	11.6	14.0	-	4.7
九州・沖縄地方(n=238)	56.7	29.0	34.9	29.4	20.6	25.6	11.3	2.5	14.3

15 博士課程へ進学した理由

回答者数 4363 人中では、博士課程に進学した理由（複数選択可）は、研究者になりたいから（32%）、学位を取得したいから（21%）、高度な専門知識を身に付けたいから（40.2%）、大学で自由な研究がしたいから（33.1%）の4つの選択肢の割合が大きかった。

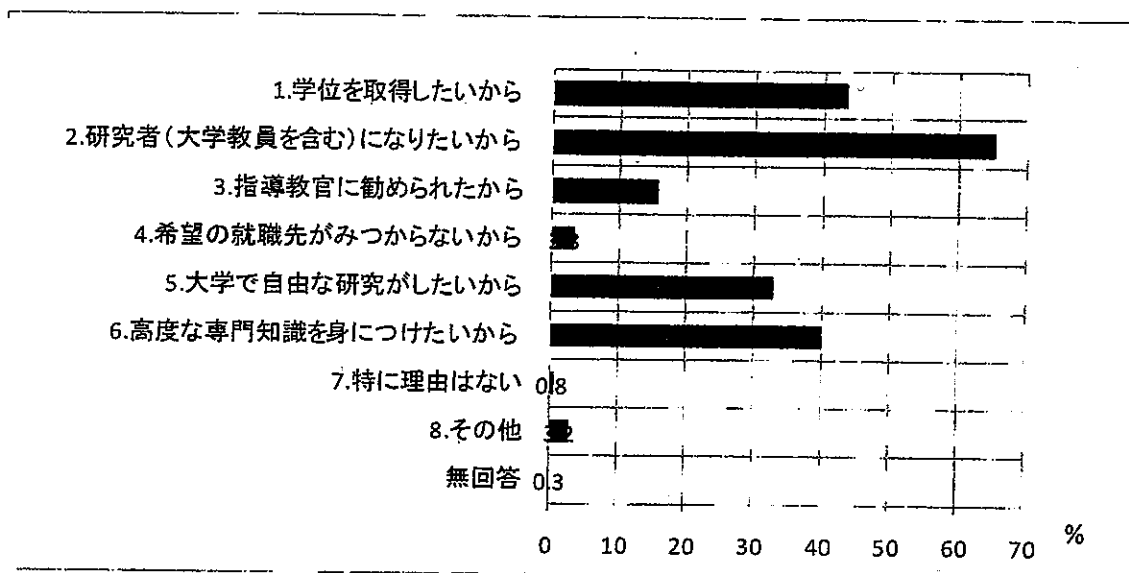


図 II-19 アンケート回答者の博士課程へ進学した理由

16 博士課程に進学した良かったか

博士課程に進学して良かったかどうかを尋ねたところ、回答者数 4363 人では、非常に感じる (2083 人、48%)、やや感じる (1802 人、41%) であり、両方を合わせれば約 89% になった。また、「全く感じない」を選択した回答者は 55 人、1% であり、少なかった。大多数の回答者は、博士課程に進学して良かったと感じていることが分かる。

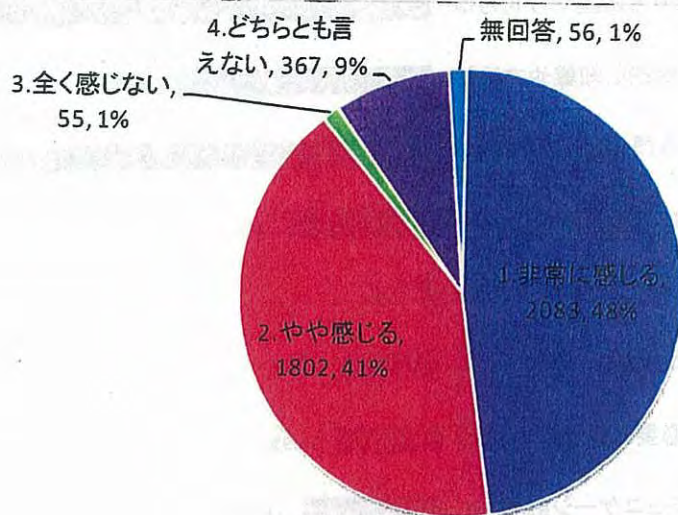


図 II-20 アンケート回答者の博士課程へ進学して良かったか

1.7 博士課程の研究教育を通じて、身に付いたこと

回答者数 4363 人中、博士課程の研究教育を通じて、身に付いたこととしては（複数選択可）、最も多かったのは、「専門分野の方法論や分析方法」（78.2%）であり、以下、「専門分野の理論的知識」（76.5%）、「専門分野の先端的な知識」（59.7%）、「専門分野の研究能力」（74.4%）、「専門分野の先端的な知識」（59.7%）と続く。このように、専門分野に関する選択肢が選択された割合が高いが、「プレゼンテーション能力」（52%）、「幅広い学問的興味関心」（38.7%）、「専門的知識・技術を様々な問題に活用できる専門応用能力」（24.4%）なども選択されている。

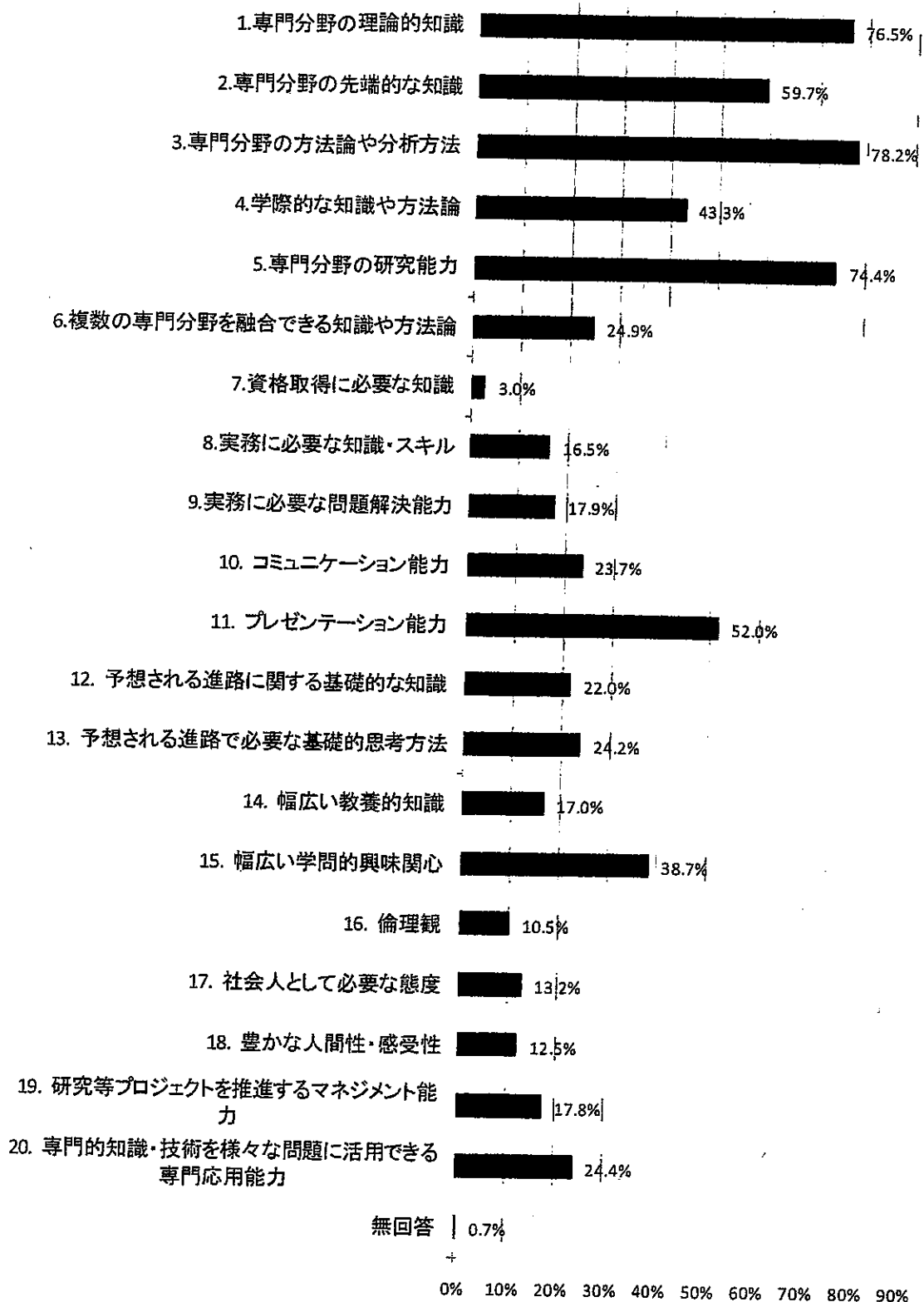


図 II-21 博士課程の研究教育を通じて、身に付いたこと